

## 会議記録

- 会議名 令和5年度 第3回丹波市社会教育委員の会議
- 日時 令和5年10月31日(火) 9:30~11:30
- 場所 氷上住民センター 大会議室
- 出席者 別添「出欠票」のとおり
- 内容
  - 1 開会(社会教育・文化財課長)
  - 2 あいさつ(議長)
  - 3 協議事項
    - (1) 令和6年度社会教育事業計画について
      - ・Ⅱ(1)~Ⅱ(4)各担当課長から説明

### 【質問・意見】

- |            |                                                                                                       |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員         | 地域学校協働活動推進員協議会について、現状、情報共有・連絡会の場となっています。研修と併せて協議の場としての在り方を考えていただきたいと思います。                             |
| 社会教育・文化財課長 | ご指摘のとおり、協議会という名称ですので、在り方について推進員の方と考えていきたいと思います。                                                       |
| 委員         | 年度を重ねていくと推進員としての役割が明確になっていないまま活動をしていることがあります。担当課として、役割を明確化した状態で活動しやすい環境にしていきたい。協議会が有意義なものになれば良いと思います。 |
| 委員         | 地域学校共同活動推進員について、現在9名配置とのことですが、配置分布について教えてください。また、目的、方針等、市としてどこを目指しているのか教えてください。                       |
| 社会教育・文化財課長 | 配置地域や配置校の指定はしていませんが、現在、中学校2名、小学校7名、合計9名配置しています。市としては全校配置を目指しています。学校と地域をつなぐ                            |

	<p>コーディネーターとしての役割を担っていただきます。</p>
議長	<p>文化ホール事業の拡充について、運営委託に至った経緯、メリットを教えてください。</p>
次長兼文化・スポーツ課長	<p>至った経緯としては、これまでは市職員を中心にボランティア団体と共同して、ホールの運営を行っていました。市の職員が軸になる運営は、人事異動により、数年で人が入れ替わるデメリットがあります。そのような状況下において安定的なホール運営と人材育成を図るための法人が設立されたことで、丹波市ならではのホール運営を継続させていけるように委託の準備を進めているといった経緯になります。</p>
議長	<p>運営委託は丹波市の業者や団体を模索されている状況ですか。運営方法が変わることによる弊害はないようにしていただきたい。</p>
次長兼文化・スポーツ課長	<p>大手による自主事業やコンサートを行っていく方針と、市民参画型でボランティアスタッフから演者まで主役になり全員でホール運営を行っていく方針の2通りがあります。従来どおりの運営を継続していけるよう実行委員会やボランティアスタッフと協議中です。</p>
委員	<p>委託先は一般社団法人ですか。</p>
次長兼文化・スポーツ課長	<p>非営利型の一般社団法人を設立されています。</p>
委員	<p>子どものスポーツ機会の拡大による健全な心身の育成について、指導者のスキルアップが図られ、有意義な研修会が開かれることで指導も変わってきているように感じますが、子どもたちの人権を守る指導という観点だと少々乱暴な言葉が飛び交っているように感じます。スポーツは勝ち負けだけではないことを大切にしてください。クラブ活動の影響で子どもたちが疲れているように感じます。次年度の研修にも加えていただきたいと思います。</p>
次長兼文化・スポーツ課長	<p>今年度の少年少女スポーツ指導者研修会ですが、スポーツには暴力や虐待は必要ないというテーマで開催しており、指導者の半数以上の方にお越しいただいています。</p>

こういった活動や研修会はこれからも継続的に行っていきたいと考えています。

委員

TAMBA シニアカレッジについて、皆さん楽しんで参加されているようですが、参加されている方の年齢層や参加人数などを教えてください。

市民活動課長

参加人数は減少傾向にあります。年齢層については現時点で把握しておりません。昨年度からテーマ別講座を開催しています。今年度は、2月からオープン講座を開催します。講座内容を参加者同士で話し合い、出た意見に基づいた内容の講座を開催する予定です。

委員

シニアの方が、学び合いの場を求められるように使用料の安価な公共施設等での開催と新しい形態を考えてください。

市民活動課長

昨年度からラジオ講座を実施しています。こちらは、普段、家から出ることができない方などもラジオにて参加いただくことが可能です。

副議長

丹波市二十歳のつどいの開催について、二十歳のつどい実行委員会を組織し、開催されていますが、若者の定着率との関連性がありますか。

市民活動課長

二十歳のつどい関係事業のみで若年層の定着率との関連性の有無について判断することは難しいと考えます。  
実行委員会については、二十歳を迎える市役所の職員を中心に選定しています。その他の方に依頼することはハードルが高い状況にありますが、アトラクション等に積極的に参加していただける方もいます。今後も発展させていけたらと思っています。

委員

TAMBA シニアカレッジ教育講座、TAMBA シニアカレッジラジオ教育講座の現状について、学んだ人とコミュニティ・スクールやたんばふるさと学とのつながりは、どのように進んでいますか。

市民活動課長

学ばれた人が学びの成果をどのように還元されているかについては把握できていません。また、地域づくりの場に還元できていないのが現状です。公民館が廃止になり、地域と市との距離があると考えています。自治振興

会で活躍できるような人材育成を目指しており、地域に学びの成果を還元できるように人材の育成を行っていきたいと考えています。

委員

自治振興会で活躍できるようにとのことですが、学校との接続がうまくできていないと感じています。学校教育課、コミュニティ・スクール、社会教育・文化財課、地域学校協働活動推進員とうまく関連させていただきたいと思います。

・ II (5) ～ II (8) 各担当課長から説明

【質問・意見】

委員

家庭教育について、認定こども園では未就園の親子に対しても支援をしています。子育て学習センターを利用されている母親からは、取り組みについて楽しそうなことを聞くことが多いため、認定こども園と子育て学習センターとの情報共有が図れたら良いと考えています。

社会教育・文化財課長

子育て支援担当部署へつなげていただきます。

委員

暮らしにとけこむ図書館づくりについて、電子図書館サービスの利用率を教えてください。また、子ども司書養成講座に参加した子どもの活躍の場が少ないと思います。今後、活躍の場をどのように考えていますか。

社会教育・文化財課長

電子図書館については、令和4年度では934点の図書のライセンスを取得しております。利用者は、令和5年3月末時点で566人、件数は2,592点です。登録者については、8,800人とそこまで伸びていない状況ですが、今後更に普及させていきたいと考えています。令和6年度のコンテンツ数も同数程度を想定しています。子ども司書養成講座については、活躍の場が中々ないことは指摘のとおりで、図書館協議会でも同意見をいただいています。受講した子どもたちの活躍の場については今後、検討していきたいと考えています。

議長

子ども司書を学校の図書室へつなげていくことは可能ですか。

社会教育・文化財課長	学校図書については学校図書サポーターがいます。そこへ子ども司書をつなげ、学校の図書へ関わっていくような考えを持たれている方もいますので、今後検討していきたいと考えています。
委員	発達障がいなど、学ぶことが難しい子どもに対する支援、当事者家族以外への理解の向上についてはどのような取り組みを行っていますか。
次長兼学校教育課長	学校内での発達障がいの話になりますが、発達障がいという言葉については理解の向上がみられます。発達障がいに関係なく一人一人の特性に応じた教育を行い、学校によっては、特別支援専門員の配置を行っています。
委員	市内の歴史・文化遺産の調査と活用について、現状の調査状況と地域に残る資料はどのようなものが対象か教えてください。また、令和6年度の予定も教えてください。
社会教育・文化財副課長	大学と連携し、各資料を大学へ持ち帰っていただき、研究を進めていく流れになります。現在は山南地域の寺院の資料を提供中ですので、令和6年度も引き続き調査を進めていきます。
委員	対象については、昭和、大正時代の研究を大事にしていきたいと考えています。丹波市には良い資料が揃っています。ボランティアにも相談があれば協力していきます。
委員	市民主体の住民人権学習の推進について、丹波市内の児童養護施設であるファミリーホームを加えていただけたらと思います。
人権啓発センター所長	そのような取り組みも含め、学んでいただく場や啓発の場を設けることを検討していきたいと考えます。
議長	職場などにおける人権学習の推進について、どのような工夫があるのか教えてください。
人権啓発センター所長	自主的な学習会をしていただきたい考えから、希望する講習内容に対して講師の派遣を行っています。制度については引き続き周知していきます。併せて、DVD等

	の資料の貸し出しについても周知していきます。
委員	人権について、子どもの特性に合わせた勉強会の機会を設けていただけたら良いと思います。
人権啓発センター所長	子どもを対象にしている職場であれば、子どもに関する研修をリクエストしていただき、講師を派遣させていただきます。
委員	人権について、学校現場とは違い、職場での人権教育は閉ざされた教育のイメージがあります。開かれた人権教育の場を推進していけたら良いと考えます。スポーツに関して、指導者が保護者から責められることもありますので指導者を守ることも大事だと考えます。
議長	全体を通して意見はございますか。
委員	丹波布の活用について、市民活動課としての企画内容を教えてください。
市民活動課長	企画については、丹波布伝承館が行っていますが、市民活動課として、協議を行ったうえで決定しています。
委員	創作展や企画展をする際、丹波布についてPRする際に、市内観光施設を活用するようにはしていただきたいと思います。
市民活動課長	過去には、市内施設をPRする際に丹波おばあちゃんの里の観光関係窓口でミニ企画展を行ったことがあります。そのような形で丹波布についてPRする方法を検討していきたいと考えます。

#### 4 テーマ研究「社会教育における子どもとの学び

##### (1) 令和5年度第2回社会教育委員の会議研修及びグループワークの振り返り

- ①気づいたこと ②もっと知りたいこと ③私がしたいこと ④その他  
・各項目について3つ程度記載

委員	<p>【記載内容】※議長から指名を受けて発表した委員の意見</p> <p>①まだまだ社会教育をわかりきっていない。</p> <p>②もっと学びたい。学校のことも知りたいと感じた。</p>
委員	<p>②人間としてつながるのに一番大切なものは何かを知りたい。</p>
委員	<p>③社会と家庭の関係</p>
委員	<p>①子育て=家庭教育ではない。</p> <p>子育てについては、多様な価値観があることを実感した。地域によって価値観が違うこともある。</p> <p>丹波市は情報交換するにも子育て学習センターなど、どこかに所属する必要があることが多い。所属などは関係なく、公園などで集まり、親同士自由に情報交換できる場が欲しいと思う。</p>

## 5 その他

- (1) 地域学校協働活動に関する現状調査（推進員へのヒアリング同行）について（令和5年11月8日（水）～22日（水））
  - ・NPO法人丹波ひとまち支援機構（たんえん）が実施する取り組みへの同行を考えている。昨年度、社会教育委員から提言書を提出したことについて、現状等を各推進員に聞き取りを行う場を設ける。社会教育委員についても参加を求められている。
- (2) 近畿・県・地区関連行事
  - ・令和5年10月23日（月）第2回地区役員会が開催された。
  - ・第2回丹波地区研修会の日程、場所が決定。  
令和5年12月11日（月）14時～ 丹波篠山市丹南健康福祉センター
- (3) 次期（令和6年4月～令和8年3月）の丹波社会教育委員の委嘱について
  - ・後日、担当課から依頼をさせていただく。
- (4) 次回丹波市社会教育委員の会議
  - ・令和6年2月に開催予定。詳細日程等は後日連絡する。
- (5) 各課からの連絡事項等
  - ・資料を机上配布
  - ・第3次教育振興基本計画の策定について、多様な市民の意見を伺い、

計画に反映させていきたいと考えている。社会教育委員へも意見を伺いたく、今年度中にヒアリングの場を設けさせていただきたい（社会教育・文化財課長）

## 6 閉会（副議長）